

法覚院「吉相墓地」解説

写真にてご紹介しております当院霊園は、開山当時山林でありましたこの地を、開基上人の発願にて、檀信徒皆様のご協力を得まして人力にて上人自ら先導し、ご奉仕の皆様と共に開墾し、初期の霊園の基礎を築かれました。

この霊園は、開基上人が各地の霊園・墓地を見て回られ、「法覚院墓相」として研鑽御研究の上、確立されました「法覚院吉相墓地霊園」であります。

(吉相墓地に関する記述は、別に「法覚院墓相研究院」のところに解説文が御座います。)

その後、幾度となく霊園周辺の開墾や石垣工事等を重ね、現在の霊園となりました。

当霊園は、当山を檀那寺として信仰の的と致し、日蓮聖人のお教えに基づき誠の信仰を頂戴され、真に仏道を歩まれる檀信徒の皆様には、いわゆる永代使用料なるものは頂かずに無償にて御使用いただいております。

それだけに檀信徒の皆様には、ある面厳しいと感ぜられる墓地使用・管理に関する規制もございますが、仏道の理に適った教えの下にすべての行動規範が整然と定められており、かえって心地よいと感ぜられる方もいらっしゃいます。

本来の「法覚院吉相墓地」は、現代の感覚から致しますとかなりの面積を必要と致します。

然るに、昨今の世情の変化により、本来の吉相墓地が諸事情により建立することが困難な場合には、それに準ずる墓碑の研究も推し進めております。

今日に至ります開基上人の研鑽御研究の上に頂戴致します「法覚院墓相」を平成の世に中興させるべく、平成20年1月1日付けにて、「法覚院墓相研究院」を発足させました。

現代の実情にあった「代々承継される御家の場合」や「自分ひとりがなくなれば絶家となられる場合の永代供養墓」等における吉相墓地の研究を主眼と致しまして、益々の研鑽・研究に精進致す所存に御座います。

尚、当院の六地藏周辺を近い将来墓地として開放し、同じ宗派を目指しておられる方々の霊園とする計画も着々と進んでおります。

御興味の御有りの方は、是非とも一度当院を御訪ね下さいね。